

# 令和4年度事業報告書

---

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

## 令和4年度 事業報告概要

新型コロナウイルス感染症との共存は3年目を迎えましたが、未だに感染拡大の波を繰り返し、収束の見通しは立っていませんが、重症化率や致死率の低減に伴い、徐々にではありますが地域行事や地域活動を再開する動きも見られるようになりました。

本会の事業推進においても、これまでコロナの影響により様々な事業の中止や延期を余儀なくされる状況が続いていましたが、感染拡大防止に配慮しながら、概ね計画通り事業に取り組むことができました。

事業については、平成30年に策定した「第2期柳川市地域福祉活動計画」の最終年の取り組みを進め、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

### 《重点目標について》

#### (1) 第2期地域福祉活動計画の推進及び第3期地域福祉活動計画の策定

第2期地域福祉活動計画の最終年度となることから、これまでの取り組みの成果や新たな課題、社会情勢を踏まえ、引き続き地域福祉活動の推進に取り組みました。

6期目を迎えた福祉委員については、130人の新任者を含め、約430人の委員に委嘱状を交付しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響から地区別研修は中止したものの、新任者研修会や全体研修会を開催し、福祉委員の活動支援に努めました。

3年ぶりの開催となった社会福祉大会では、市内の福祉関係者や市民が一堂に会し、社会福祉に功績のあった方々を表彰するとともに、今後の地域福祉の更なる推進に取り組む決意を新たにしました。

新型コロナウイルスの影響に伴う生活困窮世帯への生活福祉資金特例貸付が令和4年9月末で終了し、償還が順次開始されたため、償還免除や猶予等に関する相談対応や生活状況の把握に努めるとともに、生活困窮状態が続いている世帯に対し、フードバンク事業による食糧支援の他、活用可能な社会資源の情報提供を行いました。

市民への情報提供として、これまでの広報誌やホームページによる情報発信に加えて、LINE等のSNSを活用し、若年層に向けた情報発信の充実に努めました。

今年度で最終年度を迎えた第2期計画を見直し、今後5年間の活動指針を定めた「第3期地域福祉活動計画」を策定しました。計画の策定にあたっては、柳川市が策定する地域福祉計画との連携を図り、より効果的に地域福祉を推進するため、両計画を一体的に策定しました。本計画の基本理念である「笑顔でつながる福祉のまち柳川」の実現を目指し、地域福祉の更なる推進に努めていきます。

#### (2) コロナ禍における地域支え合い活動の支援

長期化する新型コロナウイルスの影響下において、地域福祉活動の停滞や自粛が続いたものの、地区社協活動、よりあい活動等の住民主体の取り組みが少しずつ戻ってきたこともあり、地域のつながりの再構築に向けた住民相互の支え合い活動の支援に努めました。

地域関係者への活動支援については、地区社協に対する活動助言や各地区代表者が情報交換を行う場の設定、福祉委員を対象とした研修会の開催等を通じて、with コロナ時代における地域づくり支援に取り組みました。

また、コロナ禍でより深刻な地域課題となった孤独・孤立の防止に向けた取り組みとして、困りごとを抱えるひとり暮らし高齢者等のちょっとした生活支援を担うボランティアの養成を行う

とともに、子どもから高齢者まで世代を問わずに交流できる地域食堂の普及推進に取り組みました。

### (3) 相談支援・権利擁護の推進

基幹相談支援事業を受託して2年が経過しました。今年度も引き続き、基幹相談支援の役割を広く伝えていく取り組みや社会資源の広報活動、虐待防止のための取り組みを行いました。

相談支援事業において比重の大きい計画相談業務については、計画移管による件数削減に努めてきましたが、全市的に計画相談の利用者が増加したことで他事業所への移管が困難となった他、新規利用者への対応も必要となったことから件数は再び増加し、本来の基幹業務に影響を及ぼしています。虐待防止や困難ケースへの対応、権利擁護の支援など、相談者が滞りなく支援を受けることができる相談体制の整備が急務となっています。

日常生活自立支援事業については、判断能力が不十分な方の権利擁護のため、適切なサービスの提供に努めました。また、利用者の中には、年月の経過で契約当初に比べると判断能力が低下している方もおられることから、成年後見制度への移行を行うなど、安定的・継続的な支援を行うために生活支援員の増員や法人後見の受任に取り組むことが課題となっています。

### (4) 感染症や災害時の在宅サービス業務継続計画の策定

コロナ禍での在宅福祉サービスの事業運営が3年を経過しました。一年を通して通所サービスや入所施設での陽性者発生による休業、利用者や職員の同居家族に陽性者や濃厚接触者が連続して発生し、受検や自宅待機期間の協議を繰り返し行い、感染が疑われる利用者への体調確認や状況に応じて非接触での買い物支援等を行いました。また、7月からは全ての利用者に対し、介護サービス提供前に電話で体調確認を行うことで、体調変化への早期対応と安全な介護サービスの提供に努めました。

また、令和3年度、介護報酬改定の中で感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築に向けて事業継続計画〔委員会の開催、指針の整備、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施等の整備〕の策定が義務付けられました。これまで計画の大枠や備品リストの作成を進めてきましたが、令和5年度は経過措置期間の最終年度となるため、ガイドラインに基づき計画の策定を進めていきます。

以下、令和4年度の事業概要について報告します。

## 1. 法人経営部門

- (1) 理事会・評議員会等の開催
  - 理事会の開催 4回 (6/3. 9/9. 12/23. 3/14)
  - 監事会の開催 1回 (5/20)
  - 評議員会の開催 3回 (6/22. 1/20. 3/24)
  - 正副会長会の開催 1回 (3/3)
  - 企画財政委員会の開催 1回 (1/31)
  - 評議員選任・解任委員会の開催 2回 (1/10. 3/15)
  - 表彰審査委員会の開催 1回 (9/16)
- (2) 職員の教育・研修 4回 (職員研修 1回、人権・同和研修 3回)
- (3) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣 (派遣無し)
- (4) 福祉人材育成のための実習受入れ  
介護員養成実習 (受入中止)、社会福祉援助実習 (受入無し)

## 2. 地域福祉活動部門

- (1) ボランティアセンター管理運営
  - 窓口対応件数 508件 ボランティア体験会 (2回、30人参加)
  - ボランティアサロン 10回開催、延べ161人参加
- (2) ボランティア講座 ①2回開催、延べ17人参加 ②3回開催、延べ97人参加
- (3) 傾聴ボランティア養成講座 10/5～11/16 毎週水曜日、全7回、14人参加
- (4) 市民福祉講座 2回開催、延べ18人参加
- (5) 福祉出前講座 1回開催、中島小学校3年生 (21人)
- (6) 福祉教育教材配布 (小学校19校、特別支援学校1校) 676冊 (教職員分を含む)
- (7) 各種機材・機器等貸与事業 高齢者疑似体験用具1件、プロジェクター・スクリーン2件
- (8) 各種基礎調査 令和4年3月31日現在 人口、世帯数、独居高齢者数、高齢者世帯数
- (9) 社協だよりの発行 年6回 (No.103～No.108)
- (10) インターネットによる情報配信 ホームページ (通年)、フェイスブック、LINE
- (11) 第16回柳川市社会福祉大会 10/15、市民文化会館、参加者368人
- (12) 福祉委員設置推進  
295行政区/437人 新任者研修会 (5/10)、全体研修会 (3/25)
- (13) 地区社協事業  
全体連絡会2回 個別支援 (随時)
- (14) よりあい活動支援事業 各地区社協へのよりあい活動意向調査  
遊具貸与件数27件 レクリエーション指導10回 助成金交付0件
- (15) 助成事業  
歳末たすけあい (19地区社協、950,200円)  
福祉団体活動支援 (4団体、709,000円)  
ボランティア団体活動支援 (4団体、135,000円)  
ボランティア連絡協議会活動支援 (90,000円)  
地域食堂支援 (2団体、35,000円)

- (16) 物故者敬供事業 902 件
- (17) 地域における公益的な取り組みの推進  
市内清掃活動への参加 2 回 延べ 7 人
- (18) 第 3 期地域福祉（活動）計画の策定  
校区座談会の開催 3 日間、6 中学校区 参加者 121 人  
策定委員会（4 回開催）

### 3. 市民福祉サービス部門

- (1) 心配ごと相談事業 開設日数 22 日 相談件数 35 件
- (2) 緊急支援品支給事業 申請件数 105 件 実申請者数 46
- (3) 生活福祉資金貸付事業 相談件数 475 件 申請件数 107 件 決定件数 103 件
- (4) 子育て支援ゆずりあい事業 譲受件数 22 件 譲渡件数 16 件
- (5) 福祉用具貸与事業 年間貸与延べ件数 1,249 件
- (6) ハンディキャブ貸与事業 年間貸与件数 79 件 実利用者数 25 人
- (7) 火災見舞品支給事業 6 件／11 セット
- (8) 日常生活自立支援事業 利用者数 25 人 支援回数 支援員 363 回
- (9) 福祉バス事業 利用日数 27 日 利用者数 360 人
- (10) 老人福祉センター管理運営
  - 大和老人福祉センター 開館日数 291 日 延べ利用者数 6,886 人
  - 三橋老人福祉センター 開館日数 262 日 延べ利用者数 8,860 人

### 4. 障がい者相談支援部門

- (1) 障害者相談支援・特定相談支援事業 相談件数 10,956 件 サービス利用計画 146 件

### 5. 在宅福祉サービス部門

- (1) 介護保険・障害者総合支援事業
  - 居宅介護支援 ケアプラン作成 1,331 人
  - 訪問介護 利用者数 366 人 利用回数 2,869 回
  - 障害者居宅介護 利用者数 175 人 利用回数 1,873 回
- (2) 予防給付事業
  - 介護予防支援 利用者数 235 人
  - 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス  
利用者数 699 人 利用回数 5,451 回
- (3) 在宅介護自費サービス事業 利用回数 160 回
- (4) 地域生活支援事業
  - 移動支援 利用回数 474 回
- (5) 生活管理指導員派遣事業 派遣回数 879 回
- (6) エンゼルサポーター派遣事業 派遣回数 7 回
- (7) 高齢者生きがい活動支援通所事業 実施日数 232 日 延べ利用者数 2,332 人

## 事業報告付属明細書

《法人経営部門》

### 1. 理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	<b>第 1 回理事会</b> ○令和 4 年 6 月 3 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 10 人（総数 11 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 6 人 ○全議案全会一致で可決	議案第 1 号 令和 4 年度資金収支補正予算[第 1 号]の専決処分 議案第 2 号 令和 3 年度事業報告及び決算報告 [主な意見及び質疑] ・生活福祉資金特例貸付の償還割合について 議案第 3 号 役員及び評議員選出規程の一部改正 [主な意見及び質疑] ・常務理事の選出区分変更による規程改正の必要性について 議案第 4 号 事務局規程の一部改正 議案第 5 号 後任理事選任候補者の推薦 議案第 6 号 後任評議員選任・解任委員の選任 議案第 7 号 定時評議員会の招集 報告第 1 号 令和 3 年度会長及び常務理事の職務執行状況（下半期）の報告 [主な意見及び質疑] ・わいわい食堂の活動状況及び地域食堂の活動助成金の受給要件について
	<b>第 2 回理事会</b> ○令和 4 年 9 月 9 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 6 人 ○全議案全会一致で可決	議案第 1 号 令和 4 年度資金収支補正予算 [第 2 号] の専決処分 [主な意見及び質疑] ・生活福祉資金特例貸付の償還予定額について 議案第 2 号 就業規則の一部変更 [主な意見及び質疑] ・男性職員が育休を取得した際の補完職員について

	<p><b>第3回理事会</b></p> <p>○令和4年12月23日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事10人（総数11人） ※定数10人以上15人以内</li> <li>・監事2人 ※定数2人</li> <li>・事務局6人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第1号 居宅介護支援・居宅介護予防支援事業所運営規程の一部改正に係る専決処分</p> <p>議案第2号 訪問介護事業所運営規程の一部改正に係る専決処分</p> <p>議案第3号 指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部改正に係る専決処分</p> <p>議案第4号 柳川市介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業所運営規程の一部改正に係る専決処分</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の決議方法について</li> </ul> <p>議案第5号 給与規程の一部改正</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の労働意欲を高めるような給与体系について</li> </ul> <p>議案第6号 後任理事選任候補者の推薦</p> <p>議案第7号 後任評議員の推薦</p> <p>議案第8号 後任評議員選任・解任委員の選任</p> <p>議案第9号 評議員会の招集</p> <p>議案第10号 評議員選任・解任委員会の招集</p> <p>報告第1号 令和4年度会長及び常務理事の職務執行状況（上半期）の報告</p>
	<p><b>第4回理事会</b></p> <p>○令和5年3月14日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事9人（総数11人） ※定数10人以上15人以内</li> <li>・監事2人 ※定数2人</li> <li>・事務局6人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第1号 令和5年度事業計画</p> <p>議案第2号 令和5年度資金収支予算</p> <p>議案第3号 就業規則の一部変更</p> <p>議案第4号 専任職員就業規則の一部変更</p> <p>議案第5号 定年退職者再雇用規程の一部改正</p> <p>議案第6号 定年前再雇用短時間勤務職員雇用規程の制定</p> <p>議案第7号 給与規程の一部改正</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再雇用正規職員の給料月額の下限適用対象者について</li> </ul> <p>議案第8号 後任理事選任候補者の推薦</p> <p>議案第9号 後任評議員選任候補者の推薦</p> <p>議案第10号 後任評議員選任・解任委員の選任</p> <p>議案第11号 評議員会の招集</p> <p>議案第12号 評議員選任・解任委員会の招集</p>

<p><b>(2) 監事会</b></p>	<p><b>第 1 回監事会</b>  ○令和 4 年 5 月 20 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・監事 2 人  ※定数 2 人  ○指摘事項なし</p>	<p>令和 3 年度事業報告及び決算報告に係る監査</p>
<p><b>(3) 評議員会</b></p>	<p><b>定時評議員会</b>  ○決議日：令和 4 年 6 月 22 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・評議員 16 人（総数 19 人）  ※定数 17 人以上 22 人以内  ・監事 2 人  ※定数 2 人  ・会長、常務理事  ・事務局 6 人  ○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第 1 号 令和 4 年度資金収支補正予算 [第 1 号] の専決処分  議案第 2 号 令和 3 年度事業報告及び決算報告 [主な意見及び質疑]  ・ガソリン価格高騰に伴う対策について  ・コロナ禍における地区社協の活動状況及び活動助成金の返還について  議案第 3 号 後任理事の選任</p>
	<p><b>第 2 回評議員会</b>  ○令和 5 年 1 月 20 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・評議員 12 人（総数 19 人）  ※定数 17 人以上 22 人以内  ・会長、常務理事  ・事務局 6 人  ○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第 1 号 令和 4 年度資金収支補正予算 [第 2 号] の専決処分  議案第 2 号 後任理事の選任</p>
	<p><b>第 3 回評議員会</b>  ○令和 5 年 3 月 24 日  ○三橋総合保健福祉センター  ○出席者  ・評議員 11 人（総数 20 人）  ※定数 17 人以上 22 人以内  ・会長、常務理事  ・事務局 6 人  ○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第 1 号 令和 5 年度事業計画 [主な意見及び質疑]  ・社協の一般会員数を増やす対策について  議案第 2 号 令和 5 年度資金収支予算 [主な意見及び質疑]  ・法人後見受任に係る予算について  議案第 3 号 後任理事の選任</p>

<p><b>(4) 正副会長会</b></p>	<p><b>第 1 回正副会長会</b>  ○令和 5 年 3 月 3 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・会長  ・副会長 1 人  ・常務理事  ・事務局 6 人</p>	<p>協議第 1 号 令和 5 年度事業計画 (案)  [主な意見及び質疑]  ・法人後見受任に係る法的問題について  ・インターネット寄附システムについて  ・実習生の受入について  ・民生委員と福祉委員の連携について</p> <p>協議第 2 号 令和 5 年度収支予算 (案)  [主な意見及び質疑]  ・予備費の計上率について  ・社協だよりのペーパーレス化について</p>
<p><b>(5) 企画・財政委員会</b></p>	<p><b>第 1 回委員会</b>  ○令和 5 年 1 月 31 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・企画・財政委員 6 人  ※定数 8 人  ・常務理事  ・事務局 5 人  ○全議案全会一致で承認</p>	<p>選任第 1 号 委員長及び副委員長の選任  議案第 1 号 令和 5 年度福祉団体等助成金の交付  [主な意見及び質疑]  ・コロナの影響による繰越金の取扱いについて  ・会員数が減っている要因について</p>
<p><b>(6) 評議員選任・解任委員会</b></p>	<p><b>第 1 回委員会</b>  ○令和 5 年 1 月 10 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・評議員選任・解任委員 4 人  ※定数 5 人  ・常務理事  ・事務局 3 人  ○全議案全会一致で承認</p>	<p>議案第 1 号 後任評議員の選任  [主な意見及び質疑]  ・後任評議員の地区社協連絡会における役職について</p>
	<p><b>第 2 回委員会</b>  ○令和 5 年 3 月 15 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・評議員選任・解任委員 4 人  ※定数 5 人  ・常務理事  ・事務局 3 人  ○全議案全会一致で承認</p>	<p>議案第 1 号 後任評議員の選任  [主な意見及び質疑]  ・後任評議員の選任までの空白期間について</p>
<p><b>(7) 表彰審査委員会</b></p>	<p><b>第 1 回表彰審査委員会</b>  ○令和 4 年 9 月 16 日  ○柳川市民文化会館  ○出席者  ・表彰審査委員 6 人  ※定数 6 人  ・事務局 4 人</p>	<p><b>第 16 回柳川市社会福祉大会被表彰者の審査</b>  令和 4 年度被表彰者  社会福祉団体役員 5 名  民生委員・児童委員 22 名  柳川市社会福祉協議会役員等 4 名  ボランティア団体 2 団体  社会福祉団体 2 団体</p>

## 2. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員研修	令和4年11月18日 柳川総合保健福祉センター 参加者 常勤職員 28人	福祉の関連分野である司法に携わる保護司から、保護観察対象者と信頼関係を築くためのコミュニケーションの取り方や関係機関等との連携について講義があり、人間関係が社会資源であることや組織内での仲間づくり、他機関との連携の大切さを学んだ。 また、令和2年度と令和3年度は、コロナの影響で職員研修が中止となり、職員間の交流が減ったことから、職員紹介資料を作成し、配布を行ったことで職場内でのコミュニケーションを図るきっかけを作った。
(2) 人権・同和研修		
i 人権を考えるつどい (柳川市主催)	令和4年12月11日 柳川市民文化会館 参加者 8人	「ガンが教えてくれたこと」(講演) 講師 木山裕策氏(シンガー)
ii 企業等の事業主に対する人権・同和問題研修会(大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催)	①令和4年5月23日 まいピア高田 参加者 職員1人 ②令和5年2月7日 大牟田文化会館 参加者 職員1人	①「障害はどこにある？」(講演) 講師 船越哲朗氏 ②「第35回部落解放・人権筑後地区研究集会」

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

## 3. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣無し

## 4. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・内容等
(1) 介護員養成実習	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため受入中止
(2) 社会福祉援助実習	受入無し

《地域福祉活動推進部門》

1. ボランティア育成・福祉教育

[ボランティアセンター管理運営]

<p>【窓口対応件数】 計 508 件 (前年比 233 件増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの登録 10 件</li> <li>・ボランティア活動の相談 21 件 (内訳) 活動希望 17 件、活動要請 4 件 ※この内マッチング件数は 16 件</li> <li>・その他の相談 25 件</li> <li>・ボランティアセンターへの協力要請 52 件</li> <li>・ボランティア連絡協議会からの相談 37 件</li> <li>・諸室・印刷機の利用 363 件</li> </ul> <p>※ボランティアセンターへの訪問者数 217 人</p>	<p>【登録団体件数】 計 33 団体 (前年比 1 団体増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会ボランティア 7 団体</li> <li>・福祉ボランティア 13 団体</li> <li>・教育ボランティア 2 団体</li> <li>・文化ボランティア 6 団体</li> <li>・子育てボランティア 3 団体</li> <li>・環境ボランティア 2 団体</li> <li>・災害ボランティア 0 団体</li> </ul>
<p>【ボランティア保険加入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動保険 27 件 657 人(25 人減)</li> <li>・行事用保険 17 件</li> <li>・福祉サービス補償 3 件</li> </ul>	<p>【ボランティア体験会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①9/7 iサイクル活動 第一宝箱「そらまめ」(25 人)</li> <li>②2/10 フードドライブ (5 人)</li> </ul> <p>【ボランティアサロン】 毎月第 3 土曜日開催 コロナウイルス感染拡大のため 8 月、9 月は中止。参加者 延べ 161 人</p>
<p>【評価及び課題】</p> <p>長引くコロナ感染拡大によりボランティアの活動意欲や体力の低下などの不安はあるものの、徐々に活動も行われるようになってきた。依然として、ボランティアの高齢化による活動者の減少が今後の課題である。今後は、地域食堂の推進やちょっとした生活支援ボランティア「ちょいボラ」活動者の募集を行うなど、ボランティアの養成に努める。</p>	

[各種講座・福祉教育関係]

事業の名称	事業内容・評価及び課題
ボランティア講座	<p>今年度は、2 回に分けて講座を実施した。</p> <p>1 回目は、「生活支援ボランティアの養成」をテーマに、日常生活に困りごとを抱えるひとり暮らし高齢者等へのちょっとした生活支援に取り組むボランティアの養成を行った。</p> <p>①ボランティアってなあに？ 講師 高田悦也 氏 (子ども支援共同プランナー塵劫社 代表) 参加者 7 人</p> <p>②ボランティア活動の紹介 説明 市社協職員 参加者 10 人</p> <p>【評価及び課題】 本講座をきっかけとして、ちょっとした生活支援に取り組むボランティア“ちょいボラ”の発足に繋がった。今後、地域ニーズに沿った活動を展開していきたい。</p> <p>2 回目は、「子どもの福祉、地域食堂」をテーマに講座を開催し、子どもを取り巻く社会状況の変化や地域食堂の概要等について地域関係者に学んでいただく場を設定した。</p>

	<p>①地域の子どもは地域で育てよう 講師 高田悦也 氏 (子ども支援共同プランナー塵劫社 代表) 参加者 37 人</p> <p>②10年後の未来への贈り物～家や学校以外で全面的に認められる場所～ 講師 ト部善行 氏 (筑後市社会福祉協議会 地域福祉係長) 参加者 33 人</p> <p>③地域食堂を見に行こう！ 講師 わいわい食堂実行委員会 参加者 27 人</p> <p><b>【評価及び課題】</b> 本講座をきっかけに、数地区で地域食堂の取り組みがスタートした。また、アンケートから参加者の子どもの福祉に対する理解や想いが深まったように見受けられた。今後も、子どもの福祉に関する取り組みについて、地域関係者へ協働を呼びかけていきたい。</p>
傾聴ボランティア養成講座	<p>傾聴の心構えや基礎知識、技術等を学び地域において活動する傾聴ボランティアを養成することを目的に実施。実習希望者には、本会の生きがいデイサービス利用者を対象に実習を行った。 講師 宮崎由紀子 氏 (再評価カウンセリングティーチャー) 参加者 14 人 (修了証交付 12 人)</p> <p><b>【評価及び課題】</b> 養成講座としては4年ぶりの開催となった。受講後、傾聴ボランティアグループに入会される受講者もおられた。独居高齢者等の増加に伴い、孤立・孤独対策の一環として傾聴ボランティア活動の必要性は高くなってくると思われるため、引き続きボランティア人材の育成を継続しつつ、受講者の活動意欲を今後につなげていけるよう支援のあり方を検討していく。</p>
市民福祉講座	<p>市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。</p> <p>①子どもの話を聴いていますか？ 講師 宮崎由紀子 氏 (再評価カウンセリングティーチャー) 参加者 9 人</p> <p>②親子でコミュニケーション ～アジアの子どもたちに教材を贈ろう～ 参加者：親子4組 (親4人、子ども5人) ※内1組は祖母と参加</p> <p><b>【評価及び課題】</b> 講座を通して、忙しい中での親子間のコミュニケーションの取り方、世代別の傾聴の方法等、子育て中の方はもちろん、子どもと接する職業の方にも改めて子どもとの接し方について学んでいただいた。次年度も受講者のアンケート結果等を基に、市民に関心の高い福祉時事問題や福祉課題を抱える当事者支援に繋がる講座を企画していきたい。また、参加者が少なく、広報不足を大いに感じたため、新しく立ち上げた公式LINE等のSNSを駆使し、参加者の増加を図っていきたい。</p>

福祉出前講座	<p>中島小学校からの要請を受け、3年生を対象に総合的な学習の時間を活用し福祉体験学習を実施した。</p> <p>学習内容：視覚障がい体験、聴覚障がい体験、車いす体験 参加者 21人</p> <p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>児童からの感想として、「点字ブロックをふさがないように気をつけたい」、「困っている人がいたらお手伝いしたい」といった声が聞かれ、福祉の心の醸成に繋がったものと思われる。今年度は1箇所のみの実施に終わったため、今後積極的な事業周知に努めていきたい。</p>
福祉教育教材活用事業	<p>7月4日、市内19小学校と柳河特別支援学校の3年生から5年生（学校で1学年選択）に676冊配布。</p> <p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>周りの人々とつながり合い支えられていることや、感謝と思いやりの心の大切さを学ぶ機会となったとの報告があった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。</p>
各種機材・機器等貸与事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者疑似体験用具 1件（福祉団体1件）</li> <li>・プロジェクター、スクリーン 2件（地域デイ2件）</li> </ul> <p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>事業紹介チラシを各学校等に送付し利用促進を図っていく。</p>

## 2. 調査・広報・普及

事業の名称	事業内容・評価及び課題
各種基礎調査	<p>人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施した。</p> <p>《令和4年3月31日現在データ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人口 63,566人（前年比1,010人減） <ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の割合 34.3%（前年比0.5%増）</li> <li>・75歳以上の割合 18.1%（前年比0.5%増）</li> <li>・14歳未満の割合 11.8%（前年比0.1%減）</li> </ul> </li> <li>②世帯数 26,019世帯（前年比58世帯減）</li> <li>③65歳以上独居高齢者数 4,776人（前年比165人増）</li> <li>④65歳以上高齢者世帯数 8,363世帯（前年比250世帯増）</li> </ul> <p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>調査した福祉データを各種研修や出前講座等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。</p>

<p>社協だより発行 ※年6回発行、 奇数月 第103～108号</p>	<p>【第103号】第2期地域福祉活動計画、社協会費お礼、フードドライブ報告、地域食堂支援助成金案内、市民福祉講座報告、新入職員紹介等</p> <p>【第104号】令和3年度事業報告・決算報告、福祉委員の紹介、正規職員採用試験案内、社協会費協力依頼、ボランティア講座参加者募集等</p> <p>【第105号】赤い羽根共同募金協力依頼、社会福祉大会案内、地区社協活動・役員研修会報告、福祉教育教材寄贈報告等</p> <p>【第106号】ふれあいフォト・福祉標語コンテスト入賞作品紹介、地区社協活動報告、“ちょいボラ”活動者募集、寄贈お礼等</p> <p>【第107号】年頭挨拶、社会福祉大会報告、ボランティア講座参加者募集、市民福祉講座受講者募集、正規職員採用試験案内等</p> <p>【第108号】LINE公式アカウント紹介、ちょいボラ紹介、子育て支援ゆずりあい事業紹介、地域食堂紹介、寄附お礼等</p> <p>【評価及び課題】 字体や文字の大きさ、余白、レイアウトなどの統一化により、読みやすい広報誌づくりに努めた。引き続き、紙面の更なる充実を図っていく。また、柳川市から全戸を対象とした配布物の削減に伴い、ペーパーレス化や紙の質量減などの提案があり、配布方法や発行時期など検討、改善に努める。</p>
<p>インターネットによる情報配信</p>	<p>○ホームページ 随時更新を行い、社協事業など最新の情報を掲載し、市民に情報提供を行った。 ・年間アクセス件数 11,709件</p> <p>○フェイスブック フェイスブックを通して、社協事業や地域福祉の情報提供及び啓発活動を行った。</p> <p>○LINE 公式アカウントを開設し、社協事業や福祉情報等の情報発信を行った。また、子育て世帯を対象とした専用アカウントを開設し、食料支援等を通じた子育て支援を実施した。</p> <p>【評価及び課題】 紙媒体とインターネットを併用した情報提供及び広報活動の充実に努めていく。</p>
<p>第16回柳川市社会福祉大会</p>	<p>社会福祉の発展に功績のあった方を表彰するとともに、広く市民に参加を呼びかけ、社会福祉への関心を高める機会として実施。</p> <p>①オープニング（柳川沖の石太鼓演奏）</p> <p>②式典（表彰、大会宣言など）</p> <p>③当事者からのメッセージ 発表者 富安由美子氏（元看護師 柳川市在住）</p> <p>④記念講演 テーマ 「誰も排除しない『まぜこぜの社会』をめざして」 講師 俳優／一般社団法人 Get in touch 代表 東ちづる氏 参加者 368人</p> <p>【評価及び課題】 コロナ禍での開催ではあったが、多くの方に来場いただき大盛況であった。今後、若者や子どもも含めたより幅広い世代に参加してもらえるような企画づくりを行っていききたい。</p>

### 3. 小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	事業内容・評価及び課題
福祉委員設置推進事業	<p>○福祉委員設置状況（R5.3月末現在） 福祉委員数 437人（295／326行政区）</p> <p>○研修等開催状況</p> <p>1) 福祉委員委嘱状交付式及び新任研修会 5月10日 水の郷（参加者 88人） ・福祉委員の役割と活動の留意点について</p> <p>1) 福祉委員全体研修会 3月25日 水の郷（参加者 186人） ・認知症の基礎知識と周囲の関わり方について ・活動報告（福祉委員1名、民生委員1名）</p> <p><b>【評価及び課題】</b> 第6期委員の委嘱に伴い新任者研修を実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大が一定落ち着いた折を見て全体研修会を実施したが、地区別研修については、感染拡大防止の観点から中止とした。次年度は、福祉委員同士の情報共有と活動支援を図るため、地区別研修についても実施していきたい。</p>
地区社協事業	<p>○地区社協連絡会（6月21日、3月7日の2回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協連絡会役員改選について</li> <li>・令和4年度市社協事業及び組織体制について</li> <li>・個別課題等実態調査の結果報告について</li> <li>・令和5年度地区社協連絡会事業及び活動助成金について</li> <li>・よりあい活動普及に向けた取り組みについて</li> <li>・ちょいボラ事業の実施について</li> <li>・各地区の課題共有及び情報交換</li> </ul> <p>○地区社協個別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修への職員派遣、その他、運営及び活動への助言等</li> </ul> <p><b>【評価及び課題】</b> 新型コロナウイルスの影響により、各地区社協とも従来の福祉活動を控える傾向が昨年に続き見られたが、少しずつ従来の取り組みが戻ってきている部分も見受けられた。内部研修への職員派遣の回数や活動への助言を求める声も増えてきているため、次年度は、より積極的な個別支援に取り組むとともに、今年度開催を見送った役員研修会の実施に向けて計画を進めていく。</p>
よりあい活動普及推進事業	<p>○よりあい活動に関するアンケート調査の実施</p> <p>よりあい活動普及に向けた取り組みを強化していくにあたって、各地区社協を対象にアンケート調査を実施し、地区内のよりあい活動に関する検討状況や市社協が実施するよりあい活動説明会の開催可否等の聞き取りを行った。</p> <p><b>【評価及び課題】</b> アンケート調査を行うことで、各地区社協のよりあい活動に関する意向を確認することができた。次年度以降の普及推進に活かしていきたい。</p>

	<p>○よりあい活動室内遊具の貸与 貸与件数 27 件（内訳：地域デイサービス 8、その他よりあい活動等 19）</p> <p>○レクリエーション指導回数 年 10 回</p> <p>○新規立ち上げのための助成金交付 助成団体数 0 団体</p> <p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大がやや落ち着いてきたこともあり、遊具の貸与件数、レクリエーション指導回数ともに前年度を上回った。今後も、遊具の貸出やレクリエーション指導を通して参加者の生きがいや居場所づくりの一助となるよう事業を継続していきたい。</p> <p>新規立ち上げのための助成については、今年度も申請が無かった。次年度は、積極的なよりあい活動の普及推進を図っていく。</p>
--	--

#### 4. 当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	事業内容・評価及び課題
歳末助け合い事業 ※助成事業 (12/1～12/31)	<p>新年を迎える時期に要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末助け合い事業を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地域：柳川 8 地区、大和 6 地区、三橋 5 地区</li> <li>・助成額 950,200 円（前年比 7,200 円増）</li> <li>・主な事業：一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯及び施設入居者等への見舞品配布（カツオパック、お茶、タオル、手紙など）</li> </ul> <p>※市社協で作成した見守り配布物（脳トレドリル、自宅でできる体操の紹介チラシ等）も活用いただいた。</p> <p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着してきている。歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実に繋がる支援を行っていきたい。</p>
福祉団体活動支援事業 ※助成事業	<p>市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成団体数 4 団体（前年比±0）</li> <li>・助成額 709,000 円（前年比 8,000 円減）</li> </ul>
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	<p>誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成団体数 4 団体（前年比±0）</li> <li>・助成額 135,000 円（前年比 2,000 円減）</li> </ul>
ボランティア連絡協議会活動支援事業 ※助成事業	<p>市内でボランティアを行う団体又は個人の繋がりを作り、活動を推進するために、ボランティア連絡協議会の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額 90,000 円（前年比 6,000 円減）</li> </ul>

地域食堂支援事業 ※助成事業	子どもたちの健やかな成長と地域の支え合い活動等の推進を目的として、市内で地域食堂を実施する団体に対する活動支援を行った。 ・助成団体 2 団体 ・助成額 35,000 円 ※新規事業
物故者への敬供事業	敬供件数 902 件（前年比 4 件増） ※敬供品 線香及び弔意 ・市内 901 件（+6） ・市外 1 件（-2） 【評価及び課題】 香典返し寄付の件数は微増ではあるが、寄付額及び敬供寄付比率は近年逡減傾向にあるため、引き続き敬供事業の在り方を検討していく必要がある。

## 5. 地域における公益的な取り組みの推進

事業の名称	事業内容・評価及び課題
地域公益活動への参加	○道守柳川ネットワーク清掃活動への参加 10月23日（日） 4人参加 2月19日（日） 3人参加  【評価及び課題】 社会福祉法人連絡協議会（16団体加入）の事務局として、総会・役員会等の組織運営や未加入法人への加入促進及び清掃活動への積極的な参加を行った。

## 6. 第3期地域福祉（活動）計画の策定

事業の名称	事業内容・評価及び課題
校区座談会	柳城・柳南校区（6/18）、昭代・蒲池校区（6/19）、大和・三橋校区（6/26） 参加者 121 人
策定委員会	第1回策定委員会（8/26）、第2回策定委員会（10/18）、第3回策定委員会（11/21）、 第4回策定委員会（2/15）
パブリックコメント	3/1～3/14（2週間）  【評価及び課題】 地域課題や市民の生の声を聴取し計画づくりに反映させるため、市内全中学校区で校区座談会を開催。また、計4回の策定委員会での協議及びパブリックコメントでの意見募集を経て、令和5年3月に策定した。計画内容を市民に周知し、更なる地域福祉の推進に努めていく。

《市民福祉サービス部門》

1. 総合相談事業

(1) 心配ごと相談事業 [市受託事業]

場 所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター 「水の郷」	第1・第3木曜日 13:00～16:00	22日 (+8)	35件 (+14)	家族、住宅・土地、財産、 生計・年金、その他
<p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>今年度は緊急事態措置等の発令もなく、予定どおり22日間開設した。また、今年度初めて人権相談との合同開催(6月2日と12月15日)を行ったところ、これまでの平均を上回る4～5名の方が来所された。</p> <p>どこに相談に行っていいいかわからない方向けの初期相談窓口として、広く市民に周知していく。</p>				

2. 生活困窮者の支援

(1) 緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ 世帯人数	社協支給品				その他支給品
			アルファ米	パン (缶)	主食 (インスタント)	副食 (インスタント)	
105件 (-49)	46人 (-3)	192人 (+1)	11食 (-49)	14缶 (-25)	164食 (-58)	88食 (-151)	フードバンクくるめ、県社協、寄附などで提供いただいた缶詰、麺類、白米、パン(缶)、レトルト食品等を支給。
<p><b>【評価及び課題】</b></p> <p>今年度は前年度同様、単身の低所得者又は高齢者への支給に加え、多子世帯やひとり親世帯への支給が増加したため、申請件数は減少したものの、延べ世帯人数は前年度とほぼ変わらない数となった。</p> <p>また、フードバンクくるめや市民をはじめ、企業などからも寄附していただいた食料品を緊急支援品として支給することができたため、社協支給品の購入数は抑えられ、減少した。</p> <p>申請者には、昨年度から長期的支援を行っている世帯や、自立相談支援窓口・子育て支援課など関係機関が関わっている世帯もある。他機関とも連携しながら、生活の自立に繋がるように支援していく。</p>							

(2) 生活福祉資金貸付事業 [県社協受託事業]

①本則貸付

福祉資金本則貸付 資金種類		相談件数				申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 件数
		申込	償還	その他	計				
総合支援 資金	生活支援費	0件	3件	1件	4件	0件	0件	0件	17件
	住宅入居費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	一時生活再建費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
福祉資金	福祉費	32件	5件	1件	38件	2件	2件	6件	27件
	緊急小口資金	33件	0件	11件	44件	8件	5件	5件	46件
教育支援 資金	教育支援費	11件	8件	0件	19件	1件	1件	8件	126件
	就学支度費	6件	3件	0件	9件	1件	1件	6件	
不動産担 保型生活 資金	一般世帯	5件	0件	0件	5件	0件	0件	0件	1件
	要保護世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
離職者支援資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
海苔養殖業者緊急生活資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	11件
合 計 (前年比)		87件 (-15)	19件 (+13)	13件 (+13)	119件 (+11)	12件 (-17)	9件 (-20)	25件 (-12)	230件 (-15)

②新型コロナ特例貸付

資金種類	相談件数					申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 件数
	申請	償還 方法	償還 免除	その他	計				
緊急小口資金	163件	20件	33件	18件	356件	57件	56件	139件	293件
生活支援費(初回)	109件	13件				38件	38件	98件	180件
合 計 (前年比)	272件 (-15)	33件 (+33)	33件 (+33)	18件 (-21)	356件 (+33)	95件 (-168)	94件 (-167)	237件 (+237)	473件 (-143)

【特例生活支援費の延長及び再貸付に係る年度末貸付件数】

・延長(令和3年6月末受付終了)70件 ・再貸付(令和3年12月末受付終了)76件 計146件

【生活福祉資金貸付事業 評価及び課題】

新型コロナウイルスの影響で減収した世帯へ貸付を行う特例緊急小口資金と特例生活支援費は、令和4年9月末で終了となり、前年度と比べ貸付相談及び申込件数は共に減少したものの、償還開始に関する文書が令和4年3月から送付されたことで、償還(償還免除を含む)に関する相談、問合せ件数が増加した。

次年度以降も段階的に償還が始まり、通知文書の送付時期に問い合わせが増えることが予想されるため、償還事務センターへの案内や記載方法の説明など、丁寧な対応を心がける。

また、借入世帯の中には、依然として生活状況が改善しない世帯もあることから、緊急支援品の支給などの社会資源を活用するとともに、柳川市役所の生活困窮者自立相談支援機関と連携しながら世帯更生に向けた支援を行っていく。

### 3. 子育て世帯の支援

#### (1) 子育て支援ゆずりあい事業

品目	チャイルドシート	ベビーバス	ベビーベッド	合計
譲受件数	9件 (+3)	6件 (-1)	7件 (+1)	22件 (+3)
譲渡件数	7件 (±0)	2件 (±0)	7件 (+6)	16件 (+6)
合計(前年比)	16件 (+3)	8件 (-1)	14件 (+7)	38件 (+9)

【評価及び課題】

不要となった育児用品を譲りたい人と譲ってほしい人との橋渡しを行うことで、資源の有効活用と子育て世代の育児支援を目的に実施した。広報誌に記事を掲載した月とその翌月に問い合わせが集中していることから、継続的に記事の掲載を行っていきたい。また、市社協子育て応援 LINE 公式アカウントを活用し事業周知を行い、不要になった育児用品を募り、利用者の増加を図っていく。

チャイルドシートの需要が多いものの、寄付されるチャイルドシートに破損や汚れ等がみられ、譲り渡しに向かないものも少なくない。譲り品の確保が今後の課題である。

### 4. 在宅生活の支援

#### (1) 福祉用具貸与事業

貸与品	年間の貸与延べ件数	評価及び課題
車椅子	341件 (+98)	車椅子及び電動ベッドの貸与件数が、前年度と比較して増加した。理由としては、車椅子については、新型コロナウイルス感染が落ちついてきて外出の機会が増え、短期間の貸与件数が増加した。電動ベッドについては、新型コロナウイルス感染対策で、病院での面会が家族でも制限されているため、終末期を自宅で過ごしたいという意向が増え、短期間の貸与件数が増加した。 また、現在所有している電動ベッドは、JIS規格に適合していない物品が多いことから、今後入れ替えを行っていく必要がある。
電動ベッド	856件 (+68)	
簡易ベッド	4件 (+4)	
歩行器	36件 (+13)	
松葉杖	10件 (+7)	
乳児用ベッド	2件 (-4)	
合計(前年比)	1,249件 (+186)	

#### (2) ハンディキャブ(福祉車両)貸与事業

実利用者数 (前年比)	年間貸与件数 (前年比)	評価及び課題
25人 (+7)	79件 (+37)	地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などの関係機関からの紹介が増え、利用件数は令和元年度の水準に戻った。また、令和2年6月から貸与期間を4泊5日に延長したことで、連休中の外出ができるようになり利用者に好評である。 今後も事業紹介チラシ等で、貸出期間が延長されたことを周知し、車椅子利用者の外出支援に努めていく。

### (1) 火災見舞品支給事業

支給件数 (前年比)	事業内容・評価及び課題
6件 (11セット) (+3)	火災に遭われた世帯に対して、急場の生活維持のために救援物資の支給を行う。 【評価及び課題】 寝具が準備できないなど速やかな支給が必要な場合に対応するため、令和4年12月から見舞品2セットを備蓄することとした。今後も被災状況の情報を正確に把握し、速やかに見舞品を届けられるように努める。

## 5. 福祉サービス等の利用援助

### (1) 日常生活自立支援事業 [県社協受託事業]

利用区分	期首人数	期中増数	期中減数	期末人数	支援回数
認知症高齢者	13人	3人	2人	14人	214回
知的障がい者	3人	2人	0人	5人	76回
精神障がい者	4人	0人	0人	4人	73回
計 (前年比)	20人 (+1)	5人 (+2)	2人 (±0)	23人 (+3)	363回 (-16)
評価及び課題	<p>この事業は、認知症や障がいにより判断能力が不十分な方を対象に、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用援助を行う事業である。</p> <p>本事業の利用者には、年月の経過で契約当初に比べると判断能力が低下し、成年後見制度への移行が必要な方がみられるものの、生活保護世帯や低所得世帯の方などは資力の問題から後見人のなり手が見つかりにくい状況にある。</p> <p>本事業の利用者や市民が在宅や施設で安定した生活を送るために、本会が法人後見を受任し、後見人として支援していくことについて検討していく必要がある。</p>				

## 6. 福祉バス事業 [市受託事業]

利用団体	利用日数	利用者数	評価及び課題
市・単位老人クラブ	5日 (+4)	78人 (+70)	依然として新型コロナウイルス感染の影響はあるものの、少しずつ利用が戻りつつある。また、車両の使用年数が24年、走行距離が253,000kmを超えているため、車両の老朽化が課題である。 今後も感染予防対策を徹底しながら、事業運営を行っていく。
福祉団体	8日 (+6)	96人 (+59)	
地域団体	2日 (+2)	33人 (+33)	
民生児童委員協議会	4日 (+4)	57人 (+57)	
市・地区社会福祉協議会	4日 (+4)	46人 (+46)	
柳川市	3日 (+3)	33人 (+33)	
その他	1日 (+1)	17人 (+17)	
合計 (前年比)	27日 (+24)	360人 (+315)	

## 7. 大和・三橋老人福祉センター管理運営 [市受託事業]

### [大和老人福祉センター]

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	25日	691人	27.6人
5月	23日	636人	27.7人
6月	26日	711人	27.3人
7月	27日	682人	25.3人
8月	22日	473人	21.5人
9月	24日	497人	20.7人
10月	26日	560人	21.5人
11月	24日	378人	15.8人
12月	23日	551人	24.0人
1月	23日	542人	23.6人
2月	22日	555人	25.2人
3月	26日	610人	23.5人
合計 (前年比)	291日 (+75)	6,886人 (+1,951)	23.7人 (+0.9)

#### 【評価及び課題】

令和3年11月からカラオケが再開され、利用者数も増加傾向にある。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるセンターの閉館はなかったが、11月・3月の水質検査において微量のレジオネラ属菌が検出されたことに伴い、浴室消毒や配管洗浄のため入浴を一時中止した。今後も、安全・安心な施設管理・衛生管理に留意するとともに、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

### [三橋老人福祉センター]

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	22日	520人	23.6人
5月	21日	693人	33.0人
6月	24日	793人	33.0人
7月	22日	746人	33.9人
8月	21日	639人	30.4人
9月	23日	713人	31.0人
10月	22日	793人	36.0人
11月	22日	841人	38.2人
12月	21日	707人	33.7人
1月	20日	723人	36.2人
2月	20日	758人	37.9人
3月	24日	934人	38.9人
合計 (前年比)	262日 (+67)	8,860人 (+3,067)	33.8人 (+4.1)

#### 【評価及び課題】

令和3年11月からカラオケが再開され、利用者数も増加した。今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

《障がい者相談支援部門》

(1) 障害者相談支援事業・特定相談支援事業

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	133件	318件	200件	43件	0件	87件	75件	46件	902件
5月	136件	357件	189件	32件	0件	96件	14件	30件	854件
6月	153件	387件	196件	30件	0件	73件	24件	48件	911件
7月	130件	445件	177件	54件	0件	56件	28件	66件	956件
8月	122件	516件	110件	36件	0件	50件	13件	68件	915件
9月	171件	427件	87件	28件	0件	52件	9件	64件	838件
10月	222件	343件	134件	30件	11件	66件	5件	70件	881件
11月	163件	405件	130件	22件	14件	90件	10件	68件	902件
12月	119件	398件	93件	74件	8件	128件	19件	40件	879件
1月	168件	368件	87件	61件	16件	120件	20件	41件	881件
2月	158件	451件	122件	35件	15件	71件	37件	35件	924件
3月	271件	516件	152件	36件	5件	76件	14件	43件	1,113件
合計 (前年比)	1,946件 (-250)	4,931件 (+850)	1,677件 (-119)	481件 (+207)	69件 (+69)	965件 (-142)	268件 (+169)	619件 (-143)	10,956件 (+641)
相談比率	18.0%	45.0%	15.3%	4.3%	0.6%	8.8%	2.4%	5.6%	—
<p>【相談方法】 関係機関(52%) 電話(24%) 訪問(5%) 来談(2%) 同行(1%) 電子メール(1%) その他(15%)</p> <p>【支援内容】 福祉サービス(22%) 障害・病気の理解(2%) 健康・医療(15%) 不安の解決(4%)            保育教育(2%) 人間関係(8%) 家計・経済(11%) 生活技術(15%) 就労(5%)            社会参加(3%) 権利擁護(3%) その他(10%)</p>									
<p>【サービス利用計画作成件数 146件】</p> <p>内訳：知的 84件、身体 23件、精神 18件、重度心身 17件、高次脳 1件、発達障害 3件</p>									
<p>【評価及び課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため所管課及び他相談支援事業所と共通認識の下、必要に応じて訪問や面談を実施した。発達障がいや難病、高次脳機能障がいなどこれまで少なかった障がい種別の相談が増え、相談内容も複雑になってきている。計画相談件数の増加により他相談支援事業所での対応が困難となってきているため、計画相談を担わざるを得ず、虐待防止等基幹相談支援が取り組むべき業務に影響を及ぼす状態が継続している。</p>									

《在宅福祉サービス部門》

(1) 介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		障害者総合支援	
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	111人	29人	212回	13人	130回
5月	110人	28人	203回	12人	116回
6月	112人	24人	200回	13人	145回
7月	116人	26人	223回	15人	169回
8月	113人	28人	244回	14人	165回
9月	118人	29人	281回	14人	168回
10月	114人	32人	283回	15人	175回
11月	110人	36人	301回	16人	161回
12月	110人	36人	270回	17人	135回
1月	107人	33人	203回	15人	157回
2月	105人	32人	213回	16人	173回
3月	105人	33人	236回	15人	179回
合計 (前年比)	1,331人 (-23)	366人 (-25)	2,869回 (-452)	175人 (+9)	1,873回 (+83)

【評価及び課題】

居宅介護支援については、ケアマネジャー減員となったが大きな利用者減少には至らなかった。今後も、業務の効率化を図り、必要なサービスが総合的に提供されるよう支援に努めていきたい。訪問介護については、入院や入所、短期的な支援者の増加、要介護度の低下や死亡等により利用者数、回数ともに減少した。また、介護職員不足によりサービス提供体制が整わず、新規利用者の受け入れも困難な状況が続いている。障害者総合支援事業は、利用者数、回数ともに増加。今後も信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。

(2) 予防給付事業

月	介護予防支援	総合事業（現行相当訪問介護）	
	利用者数	利用者数	利用回数
4月	20人	55人	438回
5月	20人	59人	425回
6月	20人	61人	445回
7月	22人	63人	519回
8月	20人	61人	557回
9月	20人	59人	467回
10月	19人	60人	435回
11月	20人	60人	448回
12月	20人	59人	557回
1月	19人	57人	406回
2月	18人	52人	349回
3月	17人	53人	405回
合計 (前年比)	235人 (-47)	699人 (+60)	5,451回 (+477)

【評価及び課題】

介護予防居宅介護支援の相談は多いが、介護職員不足のため新規利用者の受け入れが困難な状況である。今後も利用者の自立支援のため、より専門性を発揮したサービス提供に努めていく。

### (3) 在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数
4月	5人	10回
5月	4人	9回
6月	5人	11回
7月	5人	12回
8月	6人	14回
9月	9人	19回
10月	6人	12回
11月	7人	14回
12月	8人	17回
1月	7人	14回
2月	8人	15回
3月	7人	13回
合計 (前年比)		160回 (-15)

**【評価及び課題】**  
 新規利用者の受け入れや受診時の同行などサービス依頼も増えているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数・利用回数ともに減少傾向にある。  
 今後も引き続き、利用者の介護ニーズに柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら自費サービスの提供に努めていく。

### (4) 地域生活支援事業 [市受託事業]

#### [移動支援事業]

月	実利用者数	利用回数
4月	4人	43回
5月	4人	45回
6月	4人	47回
7月	4人	35回
8月	2人	26回
9月	4人	41回
10月	4人	46回
11月	5人	40回
12月	4人	41回
1月	4人	36回
2月	5人	36回
3月	3人	38回
合計 (前年比)		474回 (-46)

**【評価及び課題】**  
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う特別支援学校の休校等はなかったが、利用回数は若干の減少となった。今後も利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に支援していきたい。

(5) 生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業 [市受託事業]

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣	
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数
4月	24人	79回		
5月	20人	68回		
6月	25人	86回		
7月	25人	85回		
8月	24人	84回		
9月	25人	75回		
10月	21人	66回		
11月	20人	65回		
12月	20人	65回		
1月	24人	60回		
2月	23人	69回		
3月	24人	77回	1人	7回
合計 (前年比)		879回 (-15)		7回 (-111)

【評価及び課題】

生活管理指導員派遣事業については、利用者数は増加しているが、利用回数は減少している。日常生活上の支援を必要とする高齢者世帯、ひとり暮らし等の方で要支援の認定を受けた方や、基本チェックリストで該当した方が自立した生活を送ることができるよう引き続き支援を行っていく。

エンゼルサポーター派遣事業については、利用者がいなかったが、令和5年3月から新規利用が始まった。引き続き所管課と連携し利用者支援に繋げていきたい。

(6) 高齢者生きがい活動支援通所事業 [市受託事業]

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	20日	38人	36人	199人	10.0人
5月	19日	38人	36人	197人	10.4人
6月	22日	41人	38人	243人	11.0人
7月	19日	41人	38人	197人	10.4人
8月	20日	41人	34人	185人	9.3人
9月	17日	42人	35人	166人	9.8人
10月	20日	42人	34人	199人	10.0人
11月	20日	43人	33人	192人	9.6人
12月	19日	43人	34人	200人	10.5人
1月	15日	43人	32人	145人	9.7人
2月	19日	44人	34人	192人	10.1人
3月	22日	45人	36人	217人	9.9人
合計 (前年比)	232日 (+115)			2,332人 (+1,143)	10.1人 (-0.1)

【評価及び課題】

利用者の高齢化が進んでおり、平均年齢は86歳。デイサービスを利用することで日常生活における活動意欲の向上及び認知症予防に繋がっている反面、高齢であるため、筋力低下など疾病のリスクも高くなり、入院や介護施設への入所などで利用者は減少傾向にある。事業対象地区が限定され、周知や広報活動に制約があるが、民生委員等を通じて新規利用者の獲得に努めていきたい。行事や活動の制限も緩和されつつあるため、感染対策を徹底し安心して利用できるよう努めていく。

